

## 川崎市、神奈川県両合唱祭に連続出演！



演奏後の集合写真

6月28日(土)、6月29日(日)、富士通川崎合唱団は、ミューザ川崎シンフォニーホールにおいて開催された「ミューザ川崎市民合唱祭 2014」および神奈川県立音楽堂において開催された「第57回神奈川県合唱祭」に出演しました。

これらの合唱祭は、川崎市で活動する合唱団や神奈川県合唱連盟に加盟している団体が集まってそれぞれの練習の成果を発表する合唱祭です。他団体の演奏を聴くことはもちろん、講師を招いた公開レッスンなどもあり、普段なかなか体験できないことを体験するチャンスのある場でもあります。特に、ミューザ川崎市民合唱祭は、音楽のまちづくりを推進している「音楽のまち・かわさき」の代表イベントのひとつです。例年はどちらか一方に出場しておりましたが、今年は土曜日と日曜日の両休日を利用して両方の合唱祭に参加しました。



ミューザ川崎市民合唱祭 リハーサルの様子



神奈川県合唱祭 リハーサルの様子

## 【出演概要】

- ・6月28日 ミューザ川崎市民合唱祭 2014
  - 1) Salve Regina (慈しみの元后) (グレゴリオ聖歌)
  - 2) Salve Regina (慈しみの元后) (作曲: Josquin des Prez)
- ・6月29日 第57回神奈川県合唱祭
  - 1) Lux fulgebit (光は輝く) (作曲: Javier Busto)
  - 1) O Nata Lux (光より生れし光) (作曲: Guy Forbes)
  - (指揮: 加藤雅子)

「ミューザ川崎市民合唱祭」および「神奈川県合唱祭」は、地元の方々とふれあうとともに、毎年8月から11月にかけて開催される全日本合唱コンクールに向けて刺激をうけ、互いの技術力・表現力向上を目標に切磋琢磨できる意義あるイベントと考えています。

両日とも昼に練習場所である武蔵小杉のユニオンビルに集合し、本番前の最後の練習に精を出し、会場へ向かいました。当日は日差しが強く、非常に暑い中での行動になりました。本番のステージは夕方でしたので、それぞれ体力を残すようコンディションを調整するのに苦労しました。



練習風景

「ミューザ川崎市民合唱祭 2014」は、コンクールの課題曲と、課題曲への理解を深めるために練習したグレゴリオ聖歌を歌いました。

「神奈川県合唱祭」では、曲目のテーマが「光」のため、小さく柔らかい光から、爛々とした輝かしい光まで様々な光を歌で表現しました。

講評の先生方からは、良かった点と悪かった点をそれぞれ頂戴したので、今後の練習の方向性を考える材料にしていきたいと思います。



初舞台を終えた新入団員の堀さん

週休を両日使った合唱祭参加で、2日目の夜には疲れが溜まっていたようですが、同時に充実した表情を浮かべていました。ホールで歌うことで各人新たな発見や気づきがあったと思います。8月にひかえている合唱コンクール神奈川県大会に向けて、気を引き締めて練習に励みます。引き続き、応援をよろしくお願いいたします。

【記事・写真提供：富士通川崎合唱団（テナー）木山敦之】